

# キャリア教育通信

群馬県立館林特別支援学校  
令和4年7月15日  
第2号  
進路指導部

今回はキャリア教育の中で育成すべき4つの力から②みつめる力について、くわしくお伝えします。（4つの力についてはキャリア教育通信第1号を参照ください。）

## ②自己理解・自己管理能力ー「みつめる力」

「みつめる力」は自分のできること・自分の役割をみつめる力です。この力は以下のステップで身につけていくと考えます。

### ①遊びや学習の中で楽しみながら役割の一部を担う

本人が楽しんでいる活動の中で、少しでも役割を果たす経験させる。

例：砂遊びが好きな子に、「一緒にやりたいからスコップを持ってきて。」とお願いしたら持ってきてくれるかもしれないですね。そこで、「ありがとう。」となります。



### ②繰り返しの活動の中で自他の役割を意識する

本人が繰り返してできている活動の中で、それが他の人の役に立っている、役割を果たせていることを伝える。

→ これが自信につながり、自己肯定感にもつながる。

例：毎日、欠かさずやっている係の仕事、「〇〇くんのおかげで、先生助かっているよ、ありがとう！」と仕事はルーティンでも、感謝の気持ちは日々しっかりと伝えることが大切です。



### ③役割の理解から協働・協調へつながる

自分が役に立っていること、他の人の役割に気付かせることで、みんなと協力・協調して課題を解決したり、将来の仕事につながったりする。

例：作業学習で、のこぎりが得意な人、やすりを頑張れる人、組み立てが得意な人。それぞれが役割を果たすことで、木の車や絵馬などの木工製品ができていきます。そこでお互い、「ありがとう。」となります。



学校での今のお手伝いや係の仕事、それに対する支援などを担任と話題にしていただき、学校と家庭で協力して取り組んでいくことが大切だと考えています！